

檜原中だより



令和8年6月5日

八王子市立檜原中学校

校長 深瀬 健志

<令和8年度6月号>



【教育目標】

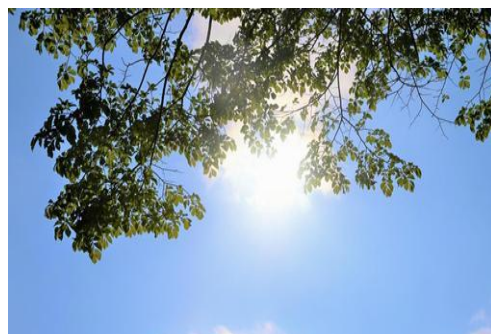
- 深く考え自ら学ぶ生徒 (知)
- ◎思いやりのある心豊かな生徒 (徳) <自他にやさしく> (重点)
- 健康でねばり強い生徒 (体)

みんなで創った体育大会

校長 深瀬 健志

新緑が眩しい季節になりました。鮮やかな緑色に囲まれた広々とした校庭では、元気よく活動する子供たちの様子を毎日のように見ることができます。先週土曜日には第51回体育大会を無事に開催することができました。

今年度は、真っ青な空の下、夏の強い日差しを体感しながらも最高の体育大会日和となりました。体育大会の実施に向けてはいくつかの『目的(目標)』があります。まず、クラスや係活動を通して、自己決定・集団決定の場面を作り、主体性の習得と心の力の強化を目指しました。さらにクラスや学年の所属感や連帯意識を高め、互いを尊重する意識や自己有用感の醸成を目指しました。限られた期間の中で、できる範囲内での準備を行い本番を迎えることとなりました。



今年度から「男子1500m」「女子1000m」は「男子1000m」「女子800m」へ、「障害物競争」は「50m走」へと変更されています。昨今の暑さ対策やけが防止対策によるものです。5月の中旬から始まった体育大会に向けての練習では、仲間に声をかけながら熱心に取り組む姿が日に日に増えていきました。体育大会予行では、「全力の失敗には価値がある。」という話をしました。当日は、「君たちの行動は、周りにいる仲間に対して勇気やパワーを与えたり、参観している多くの人に感動や喜びを与えたりする力がある。」という話をしました。生徒の皆さんがどんなパフォーマンスを見せてくれるのか、わくわくしながら見ていました。実際に競技が始まると、どの生徒も最後の最後まであきらめずに全力で駆け抜け、またそんな仲間に声をかけ、拍手を送り、精一杯応援していました。転んでしまった人や失敗してしまった人にはすかさず声をかける姿、審判の係生徒が走り終えた人をやさしく迎えに行く姿など、多くの素敵な行動を目にしました。このような行動力が檜原中の伝統として引き継がれているものだと確信させられました。全校スローガン『爆烈爆走～走れ勝利への道～』の通り、生徒みんなから全力の行動力を見せつけられた素敵な一日を過ごすことができました。皆さんも『自分の「心のノート」』に刻んでいただければ幸いです。

今年度の体育大会では1000名を超える多くの地域・保護者の皆様にご来校いただくことができました。大変嬉しく思っています。また、PTA サポーターズとしてのお手伝いや、温かい拍手やご声援、本当にありがとうございました。


学校では様々な目標を立てて教育活動を進めておりますが、その中に、「主体的に授業や教育活動に取り組む生徒」「互いの良さを尊重し、思いやりのある生徒」の育成があります。今回の教育活動を通して、子供たちは多くを学び、確実に成長しています。今まで同様、子供たちの成長を温かく見守り、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

第51回 体育大会トピックス

5月30日(土)に体育大会を実施することができました。生徒は体育大会に向けて練習を積み重ねてきた成果を発揮しました。開会式、準備体操、閉会式では体育実行委員が中心となりしっかりと取り組むことができました。また、学年種目(1年生:台風の目 2年生と7組:大縄跳び 3年生:ムカデ競争)では、全ての学年で生徒同士が互いに声を掛け合い、心一つに頑張りました。保護者の皆様、たくさんのご声援ありがとうございました。

不登校をテーマとした保護者サロンの開催について

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1.対象	市内在住で小・中学生の保護者	
2.日時	令和8年6月29日(月) 午後2時~午後4時30分	
3.会場	市教育センター 第3研修室 (八王子市散田町2-37-1)	
4.内容	講演 「不登校の子どもたちを支えるということ」 講師 八王子市心理相談員	
5.定員	60名(先着順)	
6.申込み	こちらの2次元コードからお申し込みください。⇒ https://logoform.jp/form/iapr/1590685	
7.問合せ	高尾山学園内 教育指導課登校支援担当(電話:663-3216)	